

平成22年度決算の概要について

公立大学法人 福島県立医科大学

1 はじめに

本法人の平成22年度の決算については、平成23年9月27日付けで設置者である福島県知事の承認を受けました。

この財務諸表は、企業会計を原則としつつ、公立大学法人特有の会計処理を加味した「地方独立行政法人会計基準」に基づき作成したものであり、本法人の財政状態や運営状況を示すものであります。

2 財務諸表の概要について

(1) 財政状態（別表1参照）

財政状態については、貸借対照表に記載しております。

資産の総額は、約393億1千万円で、うち、土地、建物、備品及び機器等の固定資産合計が、約321億8千万円、現金及び預金、未収附属病院収入等の流動資産合計が約71億3千万円となっております。

負債の総額は、約145億円で、うち、資産見返負債、福島県からの長期借入金等の固定負債合計が、約77億4千万円、未払金、未執行の寄附金である寄附金債務等の流動負債合計が、約67億6千万円となっております。なお、資産見返負債とは、運営費交付金など一部の財源により固定資産を取得した場合に、流動負債から固定負債に振り替える公立大学法人特有の会計処理を行うための科目であります。

純資産の総額は、約248億1千万円で、うち、福島県から出資された土地、建物となっている資本金が、約297億7千万円、建物の減価償却費の損益外減価償却累計額が主となっている資本剰余金が、約マイナス68億9千万円となっており、利益剰余金は、第4期（平成21年度）までの目的積立金（教育・研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善目的積立金）の残額約12億7千万円、当期末処分利益が約6億6千万円となっております。

(2) 運営状況（別表2参照）

運営状況については、損益計算書に記載しております。

経常費用合計が、約286億5千万円、経常収益合計が、約292億8千万円となっており、臨時損失の約2千万円を差し引き、臨時利益の約3千6百万円及び目的積立金取崩額の約1千4百万円を加えると、約6億6千万円の当期総利益となっております。

経常利益の主な発生要因は、診療報酬改定、及び心身医療科が通年で10対1看護体制となったことにより病院収益が増加したことあります。

なお、当期総利益のうち、福島県知事から経営努力認定を受けた約6億4千万円は目的積立金とし、特定の事業に充当される運営費交付金により生じた利益と認定された約1千4百万円は積立金とする利益処分について承認を受けております。

ア 経常費用

経常費用の構成比率は、人件費が全体の約50%、診療経費が約40%、その他の経費が約10%となっております。

イ 経常収益

経常収益の構成比率は、附属病院収益が全体の約64%、運営費交付金収益が約23%、その他の収益が約13%となっております。

ウ 臨時損失

臨時損失は、固定資産の除却等で、約2千1百万円となっております。

エ 臨時利益

臨時利益は、災害支援物資による物品受贈益等で、約3千6百万円となっております。

3 おわりに

平成22年度においては、様々な経営努力により当期利益を計上することができたところであります。また、3月11日に発生致しました東日本大震災により一時、診療を制限せざるを得ない状況となりましたが、早期の再開を実現したことでその影響を最小限にとどめることができました。しかし福島県の財政事情はより厳しく、交付される通常の運営経費に係る運営費交付金への効率化係数（1%）も引き続き適用されております。また医療を取り巻く状況は依然として厳しい状況にあります。さらに施設や設備の老朽化に伴う改修の必要性が年々高まっており、今後における本学の安定的な運営に向けて予断を許さない状況が続くものと考えられます。

こうした状況において、本学としましては、中期目標達成等の計画的な法人運営を図っていくため、外部資金等の自主財源の更なる獲得、財源の有効活用、業務効率化に伴うコスト削減など一層の財務内容の改善に取り組んで参ります。

別表1(貸借対照表)

(単位:百万円)

区 分		第4期 (平成21年度)	第5期 (平成22年度)	増 減	区 分	第4期 (平成21年度)	第5期 (平成22年度)	増 減			
資 産 の 部	固定資産	土地	7,499	7,499	0	固定負債	資産見返負債	3,861	3,907	46	
		建物	16,714	16,085	△ 629		長期寄附金債務	364	343	△ 21	
		構築物	435	394	△ 41		長期借入金	2,894	2,822	△ 72	
		工具器具備品	4,337	4,240	△ 97		長期リース債務	952	672	△ 280	
		図書	1,993	2,017	24		固定負債合計	8,071	7,744	△ 327	
		その他	220	30	△ 190		流動負債	運営費交付金債務	462	847	385
		有形固定資産合計	31,198	30,265	△ 933			寄附金債務	838	990	152
	無形固定資産合計	646	529	△ 117	前受受託研究費等	217		309	92		
	投資その他の資産合計	710	1,385	675	未払金	3,543		2,730	△ 813		
	固定資産合計(1)	32,554	32,179	△ 375	短期リース債務	322		321	△ 1		
	流動資産	現金及び預金	2,913	2,606	△ 307	未払費用		232	334	102	
		未収附属病院収入	3,329	3,376	47	預り金		74	82	8	
		その他未収入金	859	853	△ 6	賞与引当金		409	438	29	
		医薬品及び診療材料	125	224	99	その他	515	708	193		
		その他	97	70	△ 27	流動負債合計	6,612	6,759	147		
流動資産合計(2)	7,323	7,129	△ 194	負債合計(3)	14,683	14,503	△ 180				
					資本の部	資本金	29,767	29,767	0		
						資本剰余金	△ 6,037	△ 6,888	△ 851		
						利益剰余金	1,464	1,926	462		
						(うち当期総利益)	690	656	△ 34		
						資本合計(4)	25,194	24,805	△ 389		
資産合計(1+2)	39,877	39,308	△ 569	負債資本合計(3+4)	39,877	39,308	△ 569				

〔増減の主な内容〕

- 1 建物の減は、減価償却累計額の増によるものです。
- 2 投資その他の資産の増、現金及び預金の減は国債購入によるものです。
- 3 運営費交付金債務の増、未払金の減は、東日本大震災の影響で納品遅延が発生したことによるものです。

別表2(損益計算書)

(単位:百万円)

分		第4期 (平成21年度)	第5期 (平成22年度)	増 減	区 分	第4期 (平成21年度)	第5期 (平成22年度)	増 減		
経常費用	業務費	教育経費	519	511	△ 8	経常収益	運営費交付金収益	7,173	6,741	△ 432
		研究経費	828	986	158		授業料収益等	631	659	28
		診療経費	11,298	11,666	368		附属病院収益	17,860	18,677	817
		教育研究支援経費	186	184	△ 2		受託研究等収益等	887	1,001	114
		受託研究費等	350	398	48		補助金等収益	430	905	475
		人件費	13,495	14,202	707		財源措置予定額収益	321	542	221
		業務費合計	26,676	27,947	1,271		資産見返負債戻入	555	490	△ 65
	一般管理費	592	616	24	財務収益		1	1	0	
	財務費用	87	86	△ 1	雑益		186	263	77	
	雑損	4	4	0	経常収益合計(1)		28,044	29,279	1,235	
用合計(2)	27,359	28,653	1,294	臨時利益	物品受贈益	0	25	25		
臨時損失	固定資産除却損	27	20		△ 7	保険金収益	12	10	△ 2	
	損害賠償金・和解金	0	1		1	その他	43	1	△ 42	
	その他	25	0		△ 25	臨時利益合計(3)	55	36	△ 19	
	損失合計(4)	52	21	△ 31						
経常利益(5)=(1-2)		685	626	△ 59						
当期純利益(6)=(5+3-4)		688	641	△ 47						
目的積立金取崩額(7)		2	14	12						
当期総利益(6+7)		690	655	△ 35						

〔増減の主な内容〕

- 1 診療経費の増は、附属病院収益が増収となったことに伴う、診療材料等の経費の増によるものです。
- 2 人件費の増は、地域支援教員、会津医療センター(仮)教員など人員増によるものです。
- 3 運営費交付金収益の減は、東日本大震災の影響で納品遅延が発生したことにより、次年度に交付金を繰り越したこによるものです。
- 4 附属病院収益の増は、診療報酬改定及び心身医療科において10対1の看護体制の実施によるものです。
- 5 補助金等収益の増は、地域産学官連携科学技術振興事業等の新たな補助金事業発足によるものです。